

#### 4 地域別に見た高齢化

令和6年現在の高齢化率は、最も高い秋田県で39.5%、最も低い東京都で22.7%となっている。今後、高齢化率は、全ての都道府県で上昇し、令和32年には、最も高い秋田県では49.9%となり、最も低い東京都でも、29.6%に達すると

見込まれている。また、首都圏を見ると、令和32年には、埼玉県の高齢化率は、令和6年の27.5%から8.0ポイント上昇し35.5%に、同じく神奈川県では26.0%から9.0ポイント上昇し35.0%になると見込まれるなど、今後、我が国の高齢化は、大都市圏を含めて全国的な広がりを見ることとなる（表1-1-10）。

表1-1-10 都道府県別高齢化率の推移

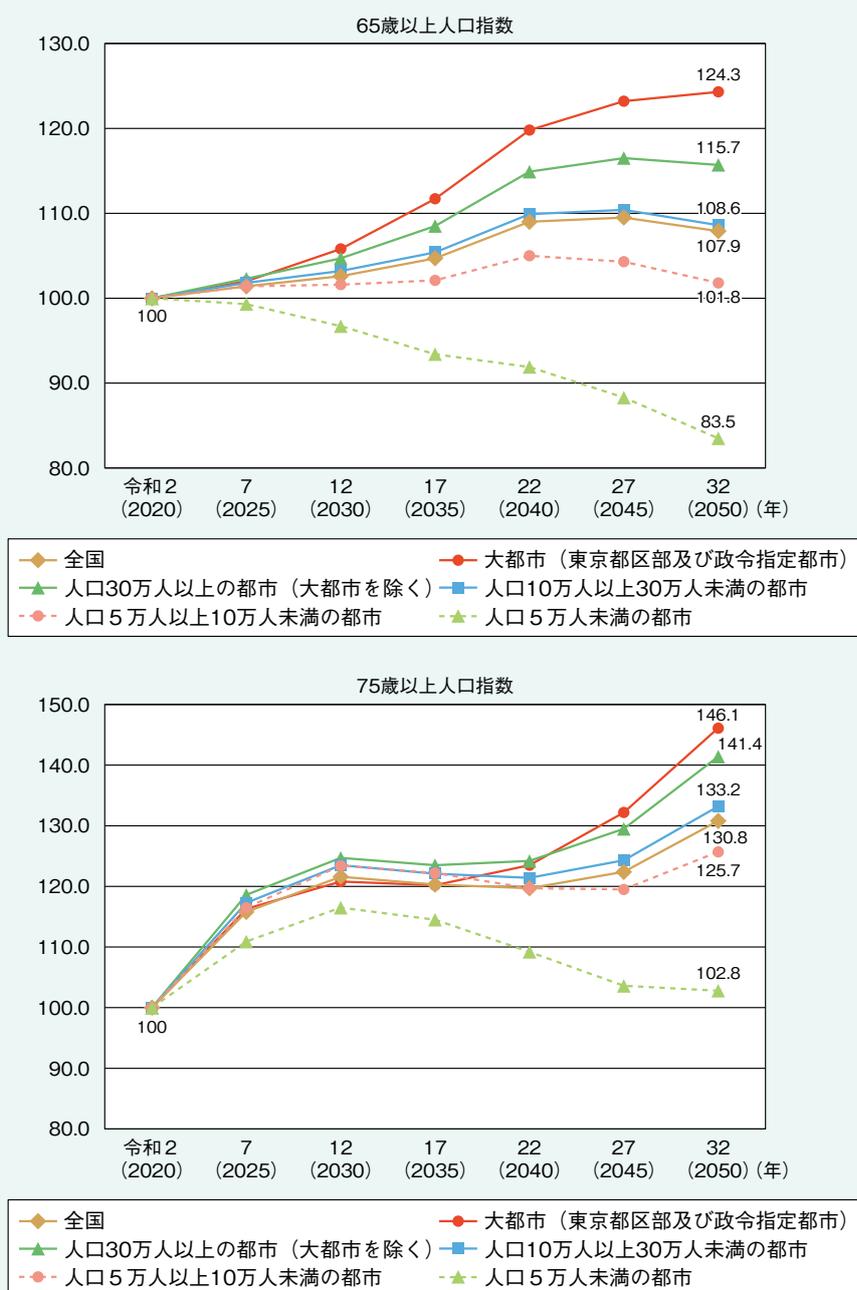
	令和6（2024）年				令和32（2050）年		高齢化率の 伸び （ポイント）	
	総人口 （千人）	65歳以上 人口（千人）	75歳以上 人口（千人）	65歳以上 人口割合（%）	75歳以上 人口割合（%）	65歳以上 人口割合（%）		75歳以上 人口割合（%）
北海道	5,043	1,677	945	33.3	18.7	42.6	27.2	9.3
青森県	1,165	416	227	35.7	19.5	48.4	31.1	12.7
岩手県	1,145	405	225	35.4	19.7	45.9	29.1	10.5
宮城県	2,248	665	357	29.6	15.9	39.4	24.0	9.8
秋田県	897	354	198	39.5	22.0	49.9	32.2	10.4
山形県	1,011	360	199	35.6	19.6	44.3	28.1	8.7
福島県	1,743	587	311	33.7	17.9	44.2	27.8	10.5
茨城県	2,806	866	477	30.9	17.0	40.0	25.2	9.1
栃木県	1,885	575	309	30.5	16.4	39.6	24.8	9.1
群馬県	1,890	588	333	31.1	17.6	40.0	25.5	8.9
埼玉県	7,332	2,018	1,164	27.5	15.9	35.5	22.1	8.0
千葉県	6,251	1,759	1,020	28.1	16.3	35.5	22.0	7.4
東京都	14,178	3,215	1,876	22.7	13.2	29.6	17.5	6.9
神奈川県	9,225	2,400	1,408	26.0	15.3	35.0	22.1	9.0
新潟県	2,099	717	402	34.2	19.2	43.2	27.3	9.0
富山県	997	331	197	33.2	19.7	41.4	26.6	8.2
石川県	1,098	337	196	30.7	17.9	38.3	24.5	7.6
福井県	739	235	133	31.8	18.0	40.3	25.5	8.5
山梨県	791	253	143	32.0	18.0	41.7	27.2	9.7
長野県	1,987	654	385	32.9	19.4	41.6	26.9	8.7
岐阜県	1,916	602	348	31.4	18.1	40.6	25.9	9.2
静岡県	3,527	1,101	629	31.2	17.8	39.6	25.2	8.4
愛知県	7,460	1,928	1,121	25.8	15.0	34.5	21.4	8.7
三重県	1,711	529	305	30.9	17.8	39.6	25.3	8.7
滋賀県	1,402	382	215	27.3	15.3	36.7	22.8	9.4
京都府	2,520	752	453	29.8	18.0	38.5	24.6	8.7
大阪府	8,757	2,418	1,458	27.6	16.7	36.6	23.2	9.0
兵庫県	5,337	1,611	941	30.2	17.6	39.5	25.3	9.3
奈良県	1,285	423	249	32.9	19.4	43.3	28.6	10.4
和歌山県	880	303	177	34.5	20.1	43.7	28.5	9.2
鳥取県	531	179	100	33.7	18.9	40.9	25.6	7.2
島根県	642	226	131	35.2	20.4	39.7	24.8	4.5
岡山県	1,831	571	337	31.2	18.4	37.8	23.8	6.6
広島県	2,714	824	482	30.4	17.8	37.4	23.6	7.0
山口県	1,281	455	267	35.5	20.9	42.3	27.0	6.8
徳島県	685	245	138	35.7	20.2	44.8	28.8	9.1
香川県	917	301	175	32.8	19.1	39.7	24.9	6.9
愛媛県	1,276	440	252	34.5	19.7	43.0	27.4	8.5
高知県	656	240	142	36.6	21.6	45.6	29.5	9.0
福岡県	5,092	1,456	811	28.6	15.9	35.1	21.3	6.5
佐賀県	788	252	137	32.0	17.3	39.3	24.4	7.3
長崎県	1,252	434	238	34.7	19.0	43.4	27.9	8.7
熊本県	1,697	553	306	32.6	18.0	38.8	24.3	6.2
大分県	1,085	374	213	34.4	19.6	40.5	25.5	6.1
宮崎県	1,033	351	193	33.9	18.7	40.8	25.6	6.9
鹿児島県	1,532	524	282	34.2	18.4	41.2	25.8	7.0
沖縄県	1,466	355	172	24.2	11.7	33.6	20.4	9.4

資料：令和6年は総務省「人口推計」、令和32年は国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口（令和5（2023）年推計）」

さらに、令和2年を基準年として、都市規模別に65歳以上人口の推移を見ると、人口5万人未満の都市以外では65歳以上人口は増加し、令和27年以降、大都市以外で減少する見込み

となっている。また、75歳以上人口の推移を見ると、人口5万人未満の都市以外では上昇傾向となっている（図1-1-11）。

図1-1-11 都市規模別にみた65歳以上人口指数（令和2（2020）年=100）の推移



資料：国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口（令和5（2023）年推計）」より内閣府作成

（注1）各カテゴリーごとに総計を求め、令和2（2020）年の人口を100とし、各年の人口を指数化した。

（注2）福島県「浜通り地域」（いわき市、相馬市、南相馬市、広野町、楡葉町、富岡町、川内村、大熊町、双葉町、浪江町、葛尾村、新地町、飯館村の13市町村を含む地域）のデータは含まれていない。